

ホワイトボード 黒板化プロジェクト

～なぜ大人の世界にはホワイトボードが普及し、小中学校からは黒板がなくならないのか。～

静岡デザイン専門学校グラフィックデザイン科

岡田遥



きっかけ

私は生まれつき視力が弱く、それでも眼鏡をすれば高校生までなにも問題なく見えいた授業中先生の書く字が、眼鏡をかけていても読めなくなったのは専門学校に入学した時でした。はじめは視力がさらに弱くなった事や眼鏡が合わなくなった事を疑いましたが、特に異常なく高校から専門学校で変わった事と言えば、黒板からホワイトボードに変わった事でした。何故、読みやすいはずの黒板が大人の世界では使われなくなり何故未だ子供の世界では未だに黒板が使われているのか。

はたまた黒板が読みやすいという事にみんな気づいていないのか。

これらが気になった事がきっかけです。

コンセプト

「ホワイトボード黒板化プロジェクト」

黒板とホワイトボードの性質を私自身が研究し、黒板の良さを再認識していただき、黒板を大学や専門学校でも使おうと思ってもらえるような提案と、ホワイトボードと黒板のいいところ取りを考えたものがホワイトボード黒板化プロジェクトです。



研究

ホワイトボード

利点

- ・スラスラとノンストレスで書く事が出来る。
- ・ぱっと書いてさっと消す事ができる。
- ・細かい字が書きやすい。
- ・マーカーはチョークのように粉が出ないため汚れないし、掃除が楽。
- ・清潔感がある。
- ・スタイリッシュ。

欠点

- ・光の反射で読みにくく目が疲れてしまう。
- ・インクがなくなると字がかすれる。消費も激しい。
- ・表面がつるつるな為滑る。
- ・消しても字の跡が残ってしまう。
- ・コストがだいぶかかる。

黒板

利点

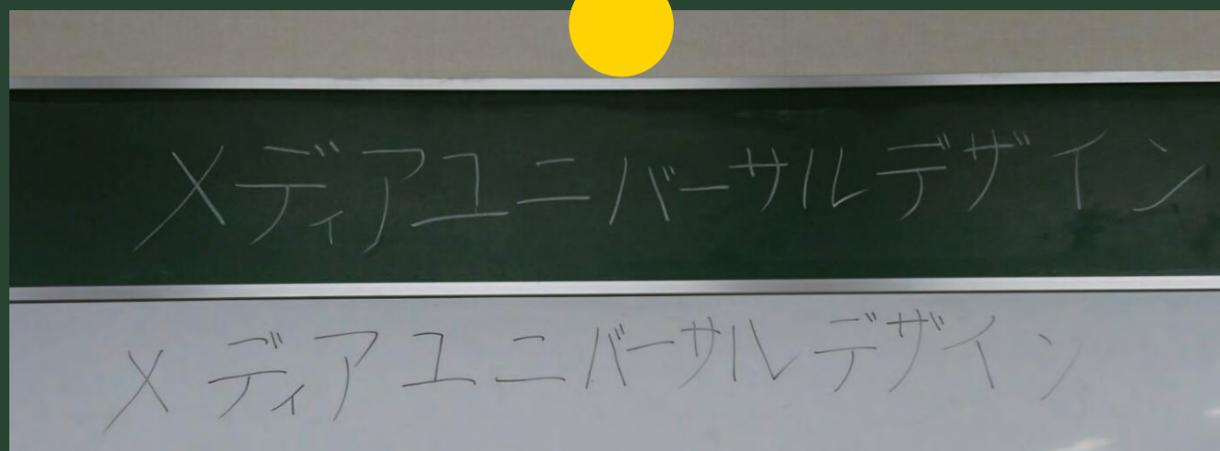
- ・深緑は、疲労感や筋肉の緊張を緩和する働きがある。
- ・膨張色の白で文字を書くと実際の大きさより大きく見え、読みやすい。
- ・水で拭く事が出来る。
- ・安価
- ・筆圧で濃淡の再現が出来る。
- ・安心感がある。
- ・ノスタルジック。

欠点

- ・細かい字が書きにくい。
- ・チョークの粉で、手も床も汚れる。掃除が大変。
- ・黒板消しで字を消す事に、少し力がいる。
- ・水拭きをしないと、完璧に消す事ができない。字が残る。
- ・爪で引っ搔いてしまった時不快な音がする。

わかったこと

授業中ノートに黒板の文字をずっと見て書き写す、小学校、中学校、高校は目が疲れない事と読みやすい事が重要視されていて目が疲れなく黒板が多く採用されていて、黒板を写す事がほとんどない大学、専門学校はさっと書いてさっと消せる事が重要視され、ホワイトボードが多く採用されているのではないだろうか。ということは、見やすさ読みやすさに視点を置くなら、やはり黒板の方が優れているという事だ。

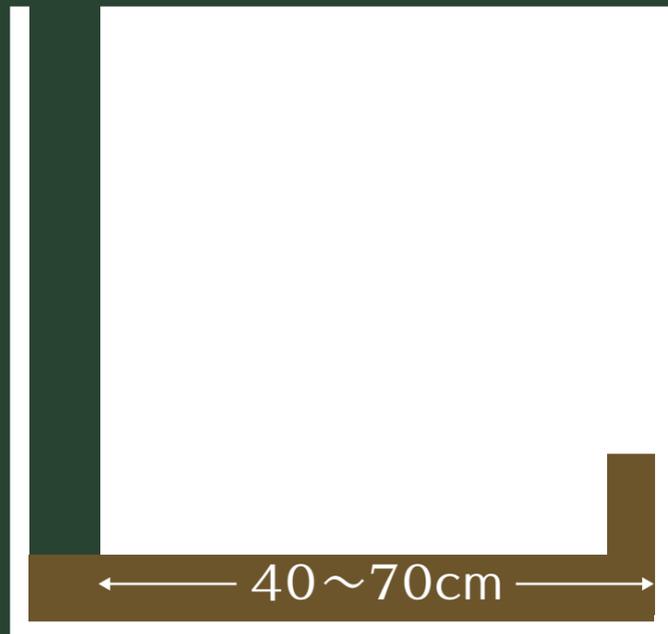


実際に書き比べた、黒板あとホワイトボードの見え方の違い。

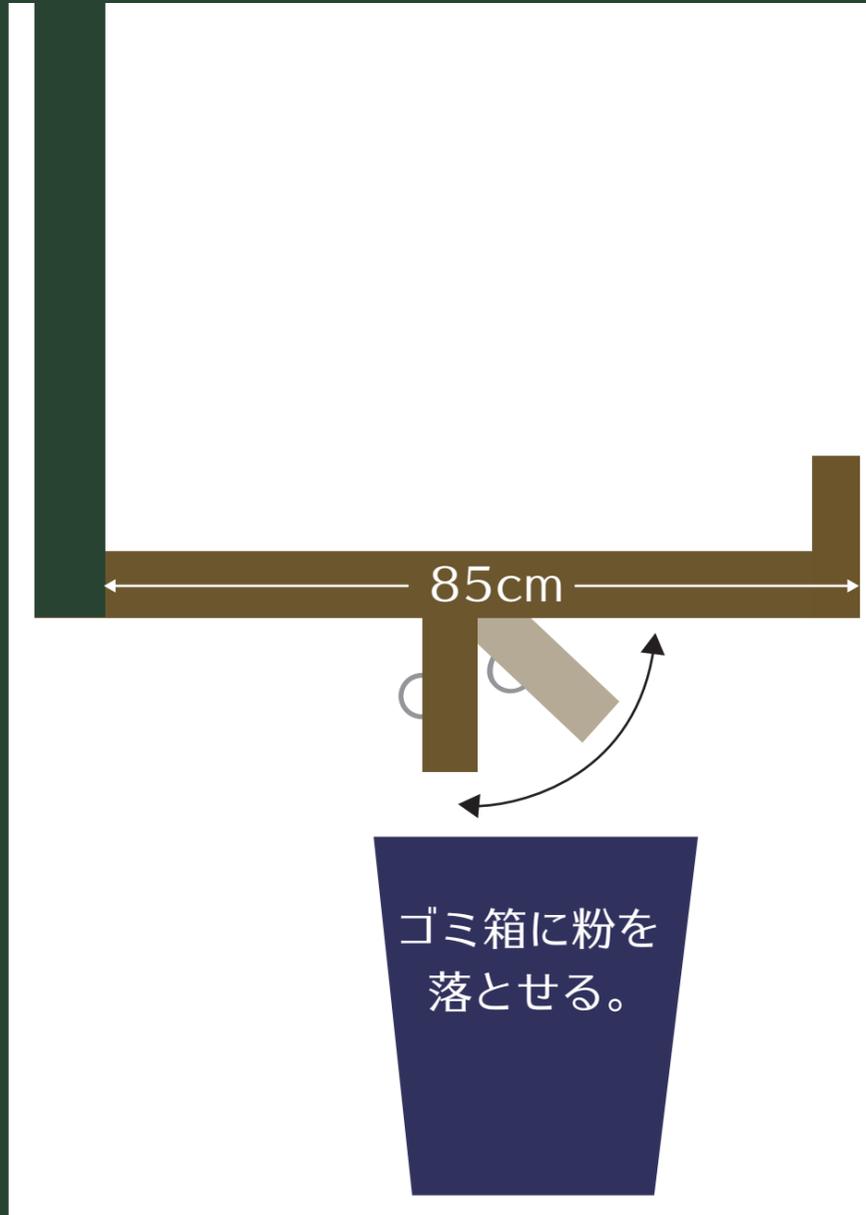
提案 1

粉受けの形を変えた黒板を作る。

粉受けの平均的な幅



新しい粉受けの提案



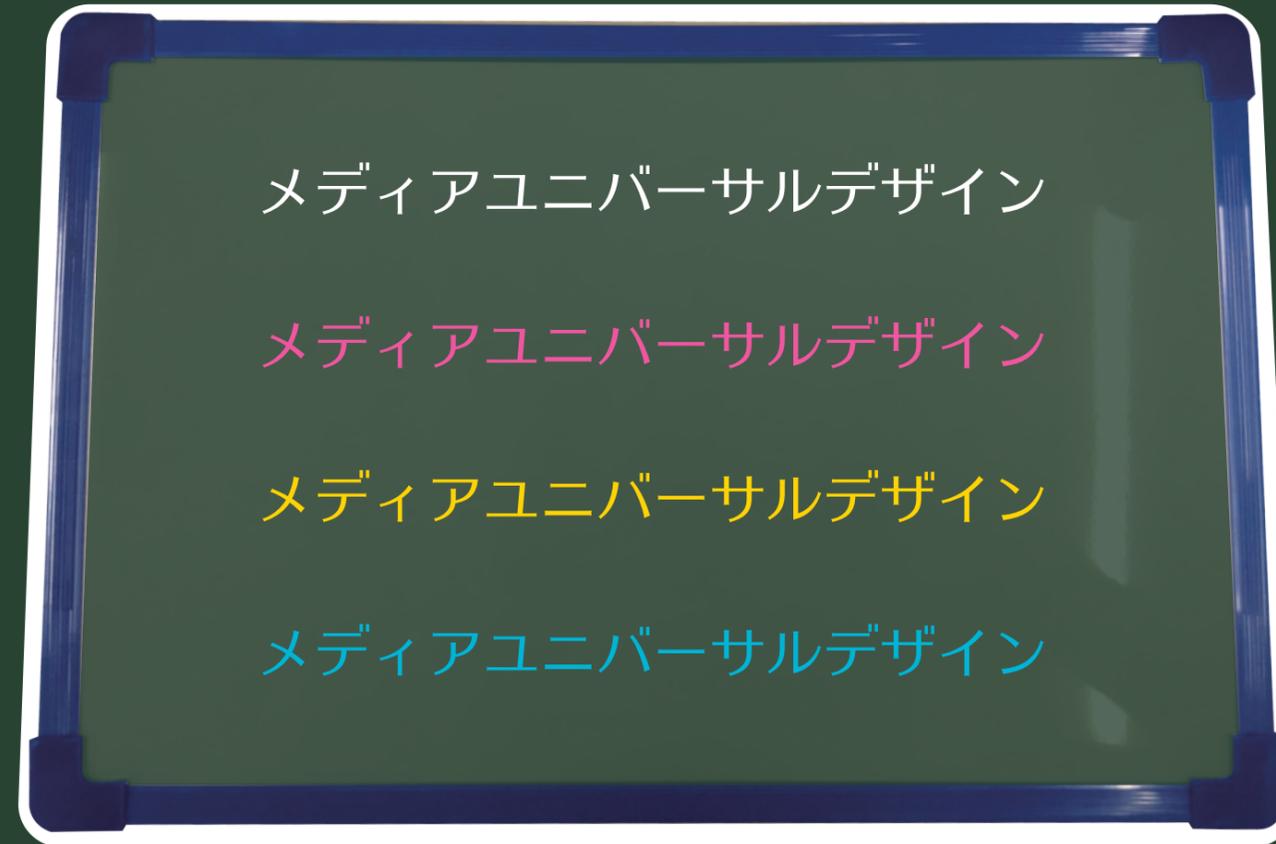
従来よりも書く時にストレスにならない程度に少し幅を広く持たせ、一箇所底が開くようにする。幅を広くすることによってチョークで書いた時に落ちる粉を逃さないで受け切ることができる。落ちる粉を粉受けでキャッチする事で床の掃除を減らす事が出来き、粉受けに溜まった粉は、小箒で一箇所にまとめその下にゴミ箱を持ってきて開ければ掃除完了。

→チョークから出る粉の掃除をかなり楽にする事が出来る。



提案 2

黒板色ボード & チョーク色マーカー



※イメージ

ブラックボード、名の通り真っ黒なボードは存在するが、目に優しく見やすいはずの黒板色のボードは存在しない。黒板カラーとチョーク色のマーカーを作る事で、材質であるスチール特有の反射は気になるが、ホワイトボードと黒板のいいとこどりのボードが出来る。



まとめ

「ホワイトボード黒板化プロジェクト」により
大学、専門学校でも黒板を使われるようになれば、
パソコンやスマートフォンで目が疲れていたり
皆視力が弱ってきた現代の日本で、
もう一度学びの場で黒板を使う事により、
皆ストレスなく平等に学ぶ事ができる

